

# 大空舞台に宙返り・背面飛行…

角田市内の阿武隈川河川敷に整備された角田滑空場で十一日、グライダーの曲芸大会「エアロパティックジャパンinかく

## グライダー 曲芸大会 角田

だ(同実行委主催)が開催された。国内外の選手が繰り出す華麗な技に、県内外から訪れた航空ファン、家族連れなど千人以上の観客から感嘆の声が漏れ

### 国内外から参加者 1000人の観客感嘆

た。地元・仙台グライダークラブのメンバーを含む国内四選手が出場。曲芸飛行用の機体を使い、宙返りや背面飛行など大空を舞台に自慢の演技を繰り広げたほか、軽飛行機でのデモンストレーションもあった。審査委員長として招かれたポーランドの名選手も模範演技に登場し、世界トップクラスの技を披露した。大会終了後にはポーランド航空協会会長から、地元関係者に記念品などが贈られた。大会は、今夏に若手商工入りが組織した市民団体「スカイネット角田」が、県航空協会などと連携して開催。当初は九日から三日間の開催日程だったが、天候不良のため急ぎよ一日に短縮して実施した。佐藤忠義実行委員長は「グライダーの魅力を伝えることができた。今後も定期的に開催し、いつかは世界大会に育てていきたい」と話していた。



グライダー、軽飛行機の華麗な技に、客席から盛んな拍手が送られた